

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月7日

事業所名 阿久根市子ども発達支援センターこじか

保護者等数(世帯数) 20名配布

回収数15名

回収割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	3	7	2	専門性は高いが、人数が不足している。	人員確保につきましては職務の内容を明らかにしつつ学校、ハローワークへの求人募集の依頼を実施いたします。併せて新規採用職員が安心してかつ意欲的に職務に取り組めるよう、またそれを継続できるような職務内・外の研修計画を立案実施していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	3	0	0	たまに虫やごみが落ちている。	役割分担して清掃に取り組みます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12	1	1	1		家庭調査票やアセスメントと個別支援計画書の関係性を明らかにして個別支援計画書の面談に取り組みます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	1	5		個別支援計画書の様式の中の「その他 家庭支援・地域支援」について明確に説明するようにいたします。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	3	0	2		個別支援計画書の前期、中間評価、最終評価の面談において、療育の中での方針を踏まえて説明するように努めます。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	11	2	1	1	基本は繰り返し行うことが多いためどちらかというと固定している。一時期は固定していたが最近では改善されていると思う。	子どもの見直しと繰り返しの必要性についての説明は実践後の考察において保護者さんにお返しします。子どもの関心に応じてまた子どもの願いを捉えて活動、遊びは変化していけるよう努力いたします。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	1	3	1		グループによってになりますが、子どもたちの人に向かう意欲に合わせて丁寧に計画いたします。
保護者へ	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	3	1	2		行政と連携してきめ細かく説明できるように努力いたします。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11	1	1	2		ガイドラインを保護者さんに示しながら、個別支援計画書について説明いたします。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	6	3	3	3		親子療育や親子での療育デイの取り組みを充実させながら、その意味・目的について説明いたします。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	12	2	1	0		不足な点については補えるように努力していきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	0	2		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 説 明 等	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	1	2	2		関係する機関（鹿児島県障がい児者父母の会等）の主催する研修会等や会議について周知してまいります。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	3	2	0		人員不足により時間が取れていないこともあります。可能な時間で対応できるよう、また人員増により対応可能となるよう努力いたします。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	2	1		保護者さんにとって必要な情報を積極的に伝えていきます。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	2	2	2	子どもへの声かけにつながるため、「今日は何をする」という日程表などがあればいい。行事のお知らせがいつも急にくる。仕事をしていると急には休めない。	月案立案後の保護者さんへの通知について検討いたします。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	1	1	2		書庫の施錠の徹底等気を付けていきます。
非 常 時 等 の 対 応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	4	1	5		マニュアルに基づいて実施していることを明らかにしながらお伝えしていきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1	0	1		
満 足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	0		
	23 事業所の支援に満足しているか	11	3	1	0		児童発達支援についてもっと保護者さんの意見を聞いていけるよう努力いたします。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。